

# 10・21福島大集会に300人！ この怒りと共に11・6日比谷へ！



10月21日昼、福島大にて「福島から大学を問う全国学生集会」を当局の弾圧をはねのけ、福大生先頭に300人の結集で行いました！

## 10/28第3波法大デモ-文科省抗議行動やりま



21日夕方、佐賀大の豊島耕一さんを招いての講演会を行い、福大生を先頭に80名が結集！

### 佐賀大教授・豊島耕一さんの講演（抜粋）



大学の批判力が弱くなっています。これはいろんな原因があるでしょうが、7年前に国立大学の法人化が行われたということが一つの大きな原因になっているといわざるをえない。

まず、中期目標というのが出てきた。大学に大臣が目標を与える。かつては教育基本法におおざっぱな目標が書いてあるだけだった。これが驚くべきことに大臣の命令に従えということになった。中期目標というのは何も限定もされていなくて、非常にあいまいなので何でも含む。そして、評価に大学はおびえている。  
(中略)

アメリカでも「ウォール街を占拠せよ」という行動が始まって、世の中は直接行動の時代に入ったかなという感じもします。現在の民主主義は機能不全に陥っている。それを補正する上で直接行動は非常に大事です。直接行動にはエンパイヤーする力がある。おもしろいわけです。つまり、達成感がある。自分自身をエンパイヤーすることが非常に大きな要素です。民主主義の最大の敵は無関心と無力感です。それに対する、最大の治療薬は、そういうエンパイヤメント、直接行動にあると思います。祝祭性、祭りという要素がある。その祝祭性がエンパイヤメントと不可分ですので、とても大事なことだと思います。しかし、やはりそこで非暴力を貫くということがとても大事だと思います。個人も組織もこの福島の問題とかかわらなくてはならない。結局悪い人は悪いんですけど、それを見て見ぬふりをする、無関心を装うということが最も困った問題だということです。これはもっとも大事で、山下俊一という人がとんでもないことを行つてのさばっているということに対して、学者が批判しない。医学者が批判しない。良識ある人たちが沈黙している。そういうことによって暴走がとまらない。何とか、その沈黙を破ることがとても大事だと思います。

### 講演会に参加した福島大生の感想

福島大学の学生です。  
講演会行きたいという人はいたんですけど、大学の目が怖いというのがあって、一応来ている人もそんなに怪しい人じゃないじゃないですか。佐賀大学の教授ですし。そこまでして何で大学はとめるのかなあというのが結構前からあって、怖いと言うより面白いじゃんって。俺も友達に「どんなことやってるのか行ってきてよ、犠牲になってきてよ」と言われて来ました。  
今回色々聞いて、福島大学の上の方からも色々話を聞きました。原発のこととかも聞いて、安全だ安全だって言っている割には、今回の講演をきいてやっぱり危ないんだなと再確認しました。このことをもうちょっとこれから言っていきたいと思いますし、特に自分、今回爆発した福島第一原発の2号機に爆発する前に行つて、あそこが吹き飛んだんだなあという思いがあり、爆発した後にその近くで災害復興支援活動してた時に、あー壊れてるなあというのを見てましたので、けっこう現地はひどいですよ。で、今回の話聞いて、豊島先生の話のいろんな人に拡散していこうと思つてます。

## ◆福島大集会の大高揚

みなさん。10・21福島大集会は300名の福大生・全国学生の結集をもって大高揚しました！

福大生からは「法大の闘いのこと知っている」「全学連が来るのを待っていた！団結したい！」といった反応が寄せられ、当日含めて福大でこの10月集まった原発反対の署名は200筆を超えています！

フクシマの怒りは爆発寸前です。この怒りと連帯し、反原発の大運動を全国から巻き起こそう！

## ◆福島から大学を問う！

私たちは改めて、福島から大学のあり方を問わなければならないと思います。

福島の実現は法政大と全く同じです。10・21集会の時、教職員が「立ち止まるな」「集会に参加するな」「ビラまきをやめろ」と弾圧を行い、さらには佐賀大の豊島教授を招いての教室企画に対しては、「学外団体の企画だ」として貸し出しを拒否してくる暴挙まで行っているのです。（福大生が申請しているのも関わらず！）

一方で福島全体が安全キャンペーンのもとモルモット状態にされている中で、大学がこのようなありかたでいいのか！こうした現状を真剣に考え、そして変革していくものとして10・21集会は打ち抜かれたのです。みんなおかしいと思っているが声がなかなかあげられない現状を何とかしたいと思っている！法大であり全国300万学生の思いは、福島と全く一緒です。今こそ大学のあり方を根本から変えよう！

## ◆10・28法大デモから11・6反原発集会へ！

ウォール街を先頭に全世界で巻き起こる闘いと共に、99%の私たちが1%の抑圧者をぶっ飛ばそう！

10月27～29日には福島の母親達が経産相前で抗議の座り込み行動を行います。28日には法大包囲デモと文科省へ抗議の申し入れ行動を行います。そして11月6日には日比谷野外音楽堂で反原発一万人集会とデモが闘われます。

学生を被曝させ続ける法大を経産相・文科省ともども串刺しにする闘いをやろう！法大を変え、原発のない社会を作るために闘おう！

## 10・28法大包囲デモ

10月28日（金）12：30法大市ヶ谷キャンパス正門前集合  
13：00デモ出発

※デモ後に文科省へ申し入れ行動に行きます

## NAZEN(全ての原発今すぐなくそう！全国会議) 事務局長・織田陽介君の集会発言（抜粋）

どうもお疲れ様です。僕は原発をなくす為の全国組織を立ち上げて、今東京で活動をしている織田と申します。よろしくお願ひします。

今日はたくさんの全国からの学生がこの場に集まってくれています。

それは、この放射能の問題、原発の問題を福島大生だけの問題にしてはいけな  
いと思うからです。

首都圏を中心にして、大学キャンパスは、東京もホットスポットが生まれてしまっています。多くの日本の学生が教育を受ける為に大学に来ているにもかかわらず、放射能をあげて、被曝せざるを得ない状況に今置かれています。本当に僕たち学生がいま大学の違いを超えてひとつに団結して文部科学省なり、政府なり、大学当局なり、この教育の環境を守ってくれと、俺たちが安全に教育を受けられる状況を作ってくれという声を上げていかなければならないだろうと僕たちは考えている次第です。

だから今日、全国の学生が福島大学に集まって、共に福島大の学生の気持ちになって、そしてつながって、ここから新しい運動を始めていきたい。しかし、残念なことが色々起っているようです。この講演会を企画していく過程で福島大学の当局は教室の貸し出しを拒否するという事態を生み出してしまっています。これは非常に残念なことです。職員の方達は是非、説明をして頂きたいと思っていますし、この後も申し入れを行いたいと思っています。

命より経済だとか、こんな事が今平然と言われています。子どもたちが被曝をしても安全だと言いなして原発を輸出して金儲けをするような社会をこれからも続けていこう、こんなことのために僕たちがいまこのキャンパスで被曝させられ続けている。これが事の真相じゃないですか。こんなことが許されていていいんでしょうか。

世界でも僕たちと同じように、真剣に考えて行動している学生がいます。ウォール街で何千人もの若者が今立ち上がって闘ってます。時代は今、明確に変わろうとしています。そして僕たちが変えようとしています。だから、今回の教室貸し出し拒否が行われているんだと思います。教室の貸し出しが拒否されていることは、僕たちがこのキャンパスに来たからじゃないと思います。福島大の学生がいま必死になって悩んで、何かしなきゃいけない、そう思って立ち上がろうと必死になっているからだだと思います。この力を恐れているからだだと思います。日本の学生は原発を世界からなくす為に、世界の学生の最先頭に立ちましよう。



11/6

もう黙ってられない！今こそ声をあげよう！！

反原発一万人大デモへ！！

11月6日（日）正午@東京日比谷野外音楽堂

（10：00～前段企画として、青年学生反原発大集会）